

学校教育目標

豊かにつながり  
たくましく  
ともに輝く子

# 横浜市立つつじが丘小学校 学校だより 1月号

Web Site <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsutsujigaoka/>

E-mail [y3tutuji@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3tutuji@edu.city.yokohama.jp) (学校代表アドレス)

令和5年 1月10日発行  
横浜市立つつじが丘小学校  
TEL 045-981-7117  
FAX 045-983-4548

## 持続可能な教育活動に“有難い”感謝の気持ちを込めて

副校長 小山 進治

新しき 年の初めの 初春の 今日降る雪の いやしけ吉事 (作大伴家持 万葉集)

新しい年が明けました。全国的に寒いお正月でした。各地では、雪化粧した風景があちらこちらで見られたことでしょう。冒頭で紹介した一首は、万葉集の編纂に関わった大伴家持が最後に詠んだ和歌です。意味は、「新しい年の初め、初春の今日降る雪のように、良い事もたくさん積もれ」といったものです。令和5年の今年は昨年よりも幸せなことが、皆様にたくさん降り積もることを心よりお祈りいたします。

令和4年はコロナ禍の日常を踏まえつつも、保護者や地域の皆様のご理解をいただきながら、持続可能な教育活動に意欲的に取り組むことができました。特に本校は子どもの実体験を重視し、学校外の諸団体と積極的に連携して授業創りに取り組んできました。裏面にも一部扱っていますが12月だけでも、2年生は市民ギャラリーあざみ野と連携した造形あそび、3年生は青葉消防署によるお出かけ防災教室、5年生はSLOWLABELのパフォーマーをお招きしての多様性を学ぶワークショップ型授業を実施しました。また6年生ではPwC Japan主催による車いすバスケットボール体験会を実現することができました。当日の運営には父親の会の皆様にもスタッフとしてご参加いただきました。これらの本物に触れる豊かな体験は、子どもたちの思考力や想像力を育む貴重な教育活動につながると私は考えています。

さて、体験といえば12月14~15日の2日間、4年生は上郷宿泊体験学習を実施いたしました。私は引率責任者として、4年生の子どもたちと共に学びの多い豊かな時間を過ごすことができました。たった1泊ではありますが、出発式や解散式、はまぎんこども宇宙科学館での見学、上郷森の家での仲間と寝食を共にする生活、心と体を解放させるキャンドルファイヤー、初冬の寒さを感じながらの星空観察や森での朝の集い、絆を深めるクラフト体験やドミノ大会と盛りだくさんの活動を子どもたちそれぞれが担当者になって主体的に進める姿をじっくり見るすることができました。特に友達の体調に気を配ったり、自分たちで約束を守るために声をかけたりして、集団での行動を意識しながら子どもたちは活動に取り組んでいました。3年ぶりに実施した4年生の宿泊体験学習ではありましたが、やはり系統的な経験を積み重ねる上でも、非常に価値のある活動であると考えさせる2日間の学びでした。教室だけでは学べない豊かな実体験は、子どもたちの一生にも影響を与える経験になったことをつくづく実感しました。

今年も出口がまだまだ見えないコロナ禍ではありますが、価値ある持続可能な教育活動の実現に意欲的に取り組んでいきます。子どもたちの実態や世の中の状況を踏まえつつも、豊かな体験や思考力を育む授業を創り出す工夫をしていきます。私自身も教室に入り、子どもたちとかかわり、授業する機会を試みていきます。すでに昨年は6年生や5年生の全クラスで国語の授業を行いました。

今月の巻頭の題名にある言葉“有難い”の語源は「有難し」です。「有難し」の意味の一つは、「あることがめったにないこと」です。今年度も残りあと3か月です。持続可能な教育活動一つ一つに“有難い”の感謝の気持ちを込め、引き続き保護者や地域の皆様のご理解をいただきながら学校運営を進めてまいります。昨年同様、今年も本校の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。最後になりますが、12月はPTA主催によるつつじフェスティバルも3年ぶりに開催することができました。冬晴れの校庭は、子どもたちの笑顔でいっぱいでした。本校を支える皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。